

なま

3月号
vol. 229



「3月15日は靴の記念日」
写真…エスベランサ靴学院（浪速区木津川2の3の8）

まちびと 特集

第8回 /

「役割があるから人は元気になれる」
世代を超えて支え合う居場所
マリリンの家（堺市）

探検

第8回

「役割があるから人は元気になれる」
世代を超えて支え合う居場所マリリンの家 (堺市)



まちびと

探検

西成区北西部地域で住まう・働く
10代~30代の若者たちが、
各地の先進事例から「まちづくり」を学ぶため
地域を飛び出し、街や人を探す旅にでる。
若者たちの視点から見た北西部地域の課題や
各地で行われているまちづくりを探ってみよう。

「おかえり」と迎えられる温かな空間が、堺のまちにある。子どもも高齢者も、こころでは支えられる側であると同時に、誰かを支える存在になる。手作りのごはんを囲みながら育まれるのは、世代を超えたつながりと「役割」。そんな人びとが集う「マリリンの家」では子ども食堂や高齢者サロン、放課後の居場所づくりなど、多彩な活動が続けられている。主宰の森重子さんに活動に込めた思いを尋ねた。

親子になろう

住友 子ども食堂などの活動をされていると聞いて伺ったのですが、「マリリンの家」というのはユニークな名前ですね。どんな由来があるんですか？

森 活動を始めるのでみんなで集まって話をしたら、私が以前に出した本『米屋のマリリンが行く。』(1995年・青心社)から取って『マリリンの家』でいいんじゃない？とて。

住友 森さん、この本を出版されていたんです

ね。その「マリリンの家」ってどんなところですか？

森 子ども食堂や高齢者サロン、小中学生の放課後や土曜日の居場所、書道教室なんかもやってるね。英会話教室はただいまお休み中、先生を募集しています。

住友 いろんな活動があるんですね。では、まず子ども食堂のことから教えてください。月にどれくらい開催されていますか？

森 月四回。一回やって終わりやったら意味がない。何回もやらない関係は深まらへん。その子の成長のことを思ってるから、熱の入れ

方が大事やねん。

住友 そうなんです。具体的にどんな雰囲気なのかな？

森 そうやねえ、地元の子どもを中心に、付き添いのお母さんも一緒に食卓を囲んでみんなで分けて食べることを大切にしているね。並ぶ料理は特別豪華やないけど、心をこめた手作りごはんや。

住友 ばくもご相伴にあずかりたいところですが、子ども食堂を続けてこられて、良かったと思うことは何ですか？

森 この年になって、毎日することがあるのがうれしいねん。うちらはみんな無償ボランティアやけど、することがあるって本当に幸せなことやよ。

住友 活動の原点にはどんな思いがあったのでしょうか。

森 最初は子ども食堂を始めても「レストラン代わりになってるんちゃうか」って悩んだこともあった。単なる食事提供ではない、「親子になろう」という思いでやってきた。そうしたら、その子の親や家庭環境のことも気になってきてね。もっと大変な人がいるはずや

森重子さん



大鍋いっぱいのカレーがみんなの笑顔に



りのもん食べてもらって、実家みたいに思ってくれたらええなって。
住友 とても居心地がよかったですね。
森 そうやといね。私は娘のように思ってる。

ボランティアの精神を伝えたい

取材当日も、用意されていた食事は九〇食分。調理や配膳に追われながらも、子どもたち一人ひとりに声をかける森さんの姿があった。

住友 ここに来た子どもや保護者らの変化は感じますか？
森 そうやね。

住友 それは何がきっかけだと思いますか？
森 私はいつもボランティアの育成ということを意識してやっているので、それやないかな。ご飯を渡して「さようなら」だけではさみしいやろ？この子らにも、ボランティアしようと思ってもらえるように、小さい時

から何かと声をかけたりおせっかいしたりしてる。

住友 子どもたちと接する中で大切にしていることは？

森 まずは褒めてあげること。この年になつたら分かるんよ。この子、こんなで悩んでるなって。家庭環境はそのまま出るからね。だからその子だけやなくて、家庭の事情も汲んでその子の良いところを認めてあげるのが大切。

住友 活動への思いの強さを感じます。

森 私ははじめから日本一の子ども食堂を目指してやってきた(笑)

住友 今後、どんな場所に行きたいですか？

森 今は育てること。今年の目標は、みんながボランティア精神を養うこと。子どももそう。できたての新しい子ども食堂にも、言葉やなくてコツコツやってる姿を見せていきたい。

マリリンの家では高齢者サロンも開かれてる。参加者の平均年齢は九〇歳だという。

住友 高齢の方々も皆さん、とてもお元気だと伺いました。

森 よそはお茶を出してもらって受け身やろ。でもここはおばあちゃんがする側やねん。

住友 参加者が折られた鶴が一万四千羽と聞いて驚きました。

森 すこいやろ。役割があるから元氣なんよ。
住友 高齢者サロンでは他にはどんなことを？

森 折り鶴もそうやけど、東日本大震災の被災地に送るために写経なんかもしてるよ。月一回は食事会もして、昔話に花を咲かせて。ゆったり過ごしてるかな。

「みんな一緒」の場所

森 小中学生にも開放してる。放課後や土曜日なんかは、遊びに来たり宿題をしたりしてるわ。時々、年長の子が小さい子の勉強をみてあげてるのをみると、ボランティア精神が育ってるのかなって思う。

住友 それとても嬉しいですね。活動の中

やさしさの循環をみんなで作ろう



で心がけていることはありますか？
森 「貧困」って言葉は嫌いやねん。だから「ひとり親の夕食会」って言うようにしてるね。(経済的に苦しい状況)になろうと思つて大変になったわけちゃうから。
住友 ボランティアで来られる学生さんへの接し方も特徴的ですね。

役割のある実家

森 東大でも阪大でも「先生」とは呼ばへん。子どもと一緒に「〇〇さん」。どんだけ学歴が良くてもマイナスもある。みんな一緒や。
 「みんな一緒やねん」と語る森さん。誰もが対等につながる場をつくり続けている。森さんの言葉の端々から感じられたのは、一人ひとりと向き合い続けてきた時間の重みだった。ここでは子どもも高齢者も、しかも「側」ではなく、誰かのために動く存在になる。食事を囲むこの場所には、人に役割と居場所を生み出す力がある。マリリンの家は、地域の中の「実家」のような場所であり、人が人として大切にされる場所であると強く感じた。

文責…住友宜夫

「取材協力」
マリリンの家
 〒591-8011
 大阪府堺市北区南花田町84の1
 TEL: 080-3842-4176
 メール: smor1212@i.softbank.jp





待っている間に店内を見回すと、白を基調とした家具で全体的に新しい印象。スタッフさんによるとオープンしたのは昨年10月。イートインスペースにはカウンター3席、2人掛けテーブルが2つと4人掛けが1つ。テイクア

ウトだったものの、店内の方が映えるので撮ってもいいか尋ねると、快くOKしてくれた。出来上がっていくバインミーを見ると、思った以上にサイズが大きく、これを1人で全部食べると思われたら恥ずかしいなと思いつなが

せることがあったが、初めての食感に「なるほど」と思いながら飲み、続いて初めてのバインミーをまずは「ハム」から。パンの中にお肉や野菜がしっかりと入っていて、パンも硬すぎず柔らかすぎず、とても満足。さすがに3つは多かったですかと思いつなが、美味しいので一気に完食。そのあとに黒糖ミルクも飲んでお腹もいっぱいになる。

遅ればせながら流行に追いついた感じがして、なるほど現代の若者の間ではこれが流行っているのか、これからは流行に乗り遅れないようにもっとアンテナを伸ばして取材しようかと誓う今日この頃であった。



(1人で食べるのだが)、商品を受けとって、スタッフさんの元気な「ありがとうございませー」の声に送られながら、お店を出る。さて、職場に帰っていざ実食、まずはタピオカミルクティーから。ハートのついた可愛らしいカップに慣れない太さのストローを挿して飲むと、まずは美味しいミルクティーが口の中に広がり、その後タピオカがやってくる。慣れるまでは何回も喉にダイレクトにタピオカが入ってきてむ

Pamer
住所：西成区花園町2の10の12
営業時間：平日10時～23時
定休日：不定休
電話番号：070-9296-9798

にしなりもん

食いだおれの街・大阪ミナミのさらに南の街・西成。
まだまだ発掘されていない「にしなりもん」を味わい尽くします。

初めてのタピオカ体験！ 「Pamer」

筆者は天邪鬼である。そのため流行もの、特に食べ物についてはワイドショーなどで、「これが今のブームです！」と紹介されたものは基本食べないままのことが多い。過去には、カヌレ、マカロン、マリトッツォなど流行に乗り遅れたわけではなく、(多分)あえて食べないまま過ごしてきた。

しかし今回、取材者としてそれは心構えとしてよくないと一念発起して、ブームも一段落した「タピオカ」に挑戦した。そう、周囲の人には驚かれるが、筆者は一度もタピオカを飲んだことがないのである。お店が乱立していたのも落ち着いてきたので、ブームは過ぎたのかなと思っていたが、まだまだ子どもや若者には根強い人気の様子。今回訪れたお店「Pamer」は鶴見橋商店街



を東に抜けたところ、国道26号線沿いにあるお店だ。こぢんまりとした店内にスタッフさんが1人、メニューを見せてもらうとタピオカだけでなく、スムージーやコーヒードリンクなど様々なカフェメニューが載っていた。とりあえずタピオカミルクティーと黒糖ミルクをオーダー、さらにフードメニューにあったバインミーも初めてだったのでオーダー。スタッフさんが具材などを丁寧に教えてくれて、今回は「スペシャル」ハム「焼肉」の3つにする。



【住友宣夫】花粉症の季節も近づいてきました。毎年のこととはいえ、くしゃみや目のかゆみを思うと少し憂うつになります。



【笹川勝正】子どもが新しい自転車欲しいと言うので自転車屋さんへ。「高いなあ」と思いながら自分も昔はマウンテンバイクをせがんだなと思いだし、親子一緒だなと感じました。



【沖田一志】先月に事務所が引っ越し。ナイスに入社して約20年、8度目の引っ越しでした。短いところで数ヶ月、長いと7年？だったか。新事務所は今までで一番広々なので長く使えたらいいなあ。



【磯拓哉】2月8日(日)雪が吹雪くなか中草野球の試合をしてきました！あまりの寒さに身体から湯気が出るほどでしたが、寒い中、体を動かすのは中々癖になりそうです。

些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気がついたら西成にたどり着いていた、或るオタクの映像系コラム。

映画と西成

昔の邦画が好きでよく観ています。中でも西成が出てくる映画にはエネルギーギッシユかつ情緒豊かなものが多い気がします。古いものから順に紹介していきます。

まずは1948年松竹「夜の女たち」(監督:溝口健二、主演:田中絹代)戦後の戦争未亡人たちの苦難を描いた作品になります。ロケ地は当時の釜ヶ崎だそう、劇中「この付近で停立又は徘徊する女性は闇の女と認め、検挙する、云々」という警告の立て札が衝撃的です。

そして1951年東宝「めし」(原作:林芙美子、監督:成瀬巳喜男、主演:原節子、上原謙)主な舞台は天下茶屋。部屋や路地は撮影セットのようですが、帝塚山でのロケもあります。天神ノ森天満宮(西成区)や阪堺電車、天神ノ森駅のたたずまいは今も変わることなく驚かされます。

1960年松竹「太陽の墓場」(監督:大島渚、主演:炎加世子、津川雅彦、ささきいさお)「新今宮駅」ができる前の釜ヶ崎が実にエネルギーギッシユに描かれています。俳優さんたちの汗や息づかいが身近に感じられるほど強い印象



2月3日GCCKids恒例の行事。今年も鬼がやってきました! 突然現れた鬼に、2歳児クラスだけでなく年少クラスの子ともたちも泣き出しますが、子どもたちと先生が力を合わせて鬼退治! 先生から節分の由来を聞いたり鬼の人形を作ったり、みんなで日本の季節行事を楽しんでいます。



象を与えてくれる熱い作品です。
1962年日活「当りや大将」(監督:中平康、主演:長門裕之、轟夕起子)黒澤明監督の「生きる」を思い出させてくれるような展開。轟夕起子演じる飲み屋の女将の歌が耳について離れません。あと長門裕之を観るたびに桑田佳祐と結びついてしまいます。仕事まで似ています!!
1968年日活「かぶりつき人生」(監督:神代辰巳、主演:殿岡ハツエ)浪速の地でたくましく生き抜くストリッパーの物語。この作品には今も岸里にある「久津和ビル」が美名で登場します。ラストシーン、ビル最上階でゴーゴーを踊る若者たちのシーンはまさに「名場面」。映画には当時の空気が色濃く残ります。
1974年日活「色情めす市場」(監督:田中登、主演:芹明香、花柳幻舟、宮下順子)釜ヶ崎ロケのこの作品、すでに廃線となっている南海電鉄平野線と「飛田停留場」を観ることができま。私が中学生の頃に観た風景がこの映画の中に残っています。
最後に話が変わりますが、かつて西天下茶屋商店街の中にあつた「岸里映

大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

詐欺被害を防ごう!

特殊詐欺の認知件数は2024年1月が1039件に對し、2025年11月が2255件と2倍以上に増加している。警察庁特殊詐欺対策ページ調べ。自分だけでなく家族や友人など大切な人が被害に合わないよう詐欺の手口や対策を知っておくことが大切だ。
今回は松之宮地活協が2月4日に実施した「消費者被害に合わないために」という学習会に参加した。大阪弁護士会の講師からは、払いきれたお金が返ってくるという手口の「還付金詐欺」や無料で点検できると聞いているのに高額な料金を請求される「点検詐欺」などのお話があった。

ATMの操作を誘導する実際の音声を流し、巧みに高額な金額を振り込ませるシーンでは「怖いわー」と声が上がっていた。少しでも違和感を感じたら誰かに相談する、被害にあつてしまった時のために法テラス等の相談先を知っておくことが大切だ。
あなたの周りでも「近々お金が返ってくる」などと言っている人がいたら、少し気にかけてみてほしい。それが詐欺被害を減らす一歩だ。



劇」。先日訪ねてみると更地になっていました。中学生の頃、同級生とここでガメラの映画を観ました。売店でアイスクリームを買ったのですが、「スプーンないよ」と言われ、アイスクリームのふたを二つ折りにして食べたのを思い出します。電車に乗らなくても、自宅からの徒歩圏内で映画を観ることができたあの時代が懐かしい。
ハンブレイ・T



[福井龍磨] イギリスの素晴らしいロックミュージシャンであるクリス・レアが74歳で亡くなった。「Looking For The Summer」「Windy Town」といった曲を何度聴いたかわからない。ご冥福をお祈りします。



[西田吉志] 2月初旬、講師として和歌山県勝浦町に招かれました。和歌山県では本年度に子どもから若者まで切れ目ない支援を目的とした「子ども計画」を策定。西成区北西部で私たちを取り組む子どもや若者とつながり続ける活動について講演した。



[谷口円] 網膜剥離の疑いありで、最近眼科に通っています。とりあえずは大丈夫そうなのですが、リスクは高い状態。手術になったら怖すぎるので戦々恐々。歳を重ねると身体にガタがきますね…。



[田岡秀朋] 「選挙に行くことは賢沢」。この一言を刻みたい。投票日の朝のTV。ミャンマーを亡命した渋谷ザニーさんの発言。圧勝が暴走とならぬよう、ボケずに対峙し、次の「賢沢」に備えたい。

葉っぱの吐息

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱのお喋りを聞いてください。



「また会える日まで」の巻

命がうまれたとき
 ころ踊るきもち
 命がそだつとき
 ころ鳴るきもち
 命がおちつくとき
 ころ安らぐきもち
 命がはてるとき
 ころ安堵なきもち
 命あふれる地球
 植物をはぐくむ地球
 葉っぱに命があるから
 葉っぱの吐息がきこえる
 84枚の葉っぱの吐息
 84枚の葉っぱの思い出
 また葉っぱと出会いたい
 そして吐息を感じたい

赤井まゆみ

葉っぱの吐息、私は心で感じた毎日でした。みなさまにも感じて頂けていたら幸いです。7年間ありがとうございました。

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



(寺本良弘)

2月8日の衆議院選挙では自民党が300議席を超える歴史的勝利を収めた。今後の国会運営をしっかりと見ていく必要があり、暴走をさせないことが大事だと思う。また、高市総理が語った「信認を得るための選挙」という言葉にも考えさせられた。衆議院による首班指名という現行の仕組みでは民意が反映されていないというのなら、国民が直接選ぶ仕組みを議論すべきだというのだろうか。

小選挙区制の在り方も問われる。大阪はほぼ維新一色、全国ではほぼ自民党といった現状では、他候補に投じた民意が活かされにくい。有権者も候補者の人となりではなく政党の状況で投票している。維新のように定数削減を論じるなら、選挙制度自体の検討も必要だろう。

い湯かげん

再審不開始、裁判官は何に怯えたのか

1月28日、熊本地裁は菊池事件の再審請求(四回目)を不開始とした。ボクの50年来の友人も、決定を待つ支援者の中にいたが、熊本地裁前は落胆と怒りに包まれたという。友人は呟いた。裁判官が憲法条項を誤記する失態まで犯したのは、結論(再審不開始)ありきの不熱心さも想像させるが、裁判官も理不尽な決定を書くのに動揺したからではないかと。ずっと昔、東京高裁の傍聴席から見た石川一雄さんの小さな背中と、向かい合う寺尾裁判長の横の裁判官のあまりの若さとの対照に戸惑った日のことが、走馬灯になった。

菊池事件は、1952年7月に起こった村役場職員殺害事件で、隔離施設に囚われていたハンセン病患

者が5日後に逮捕、翌8月29日には死刑判決が下され、1962年9月に刑が執行された異例のスピード裁判となった。この時代は悪名高き「らい予防法」下で、ハンセン病患者は司法や行政の手によって隔離され、世論も公然と差別し忌避する暗夜の時代だった。

熊本地裁は、菊池事件を隔離施設内に「特別法廷」を設けて審議した。発布間もないとはいえ新憲法82条は、公開裁判の原則を定めていたから、傍聴人もなく、証人も隔離施設に呼び出し、刑確定後に囚人を諭すのが務めの教諭師まで同席させて威圧した裁判は、剥き出しの憲法違反だった。教諭師自身が、後の取材に、「捜査官(は)あいつは非人(人に非ず)だ」と暴言を吐いた」「証拠資

料も)著でつかんで」「まるで人間扱いしてなかった」「弁護人も『こんな病人だから情状酌量を』という態度だった」と証言しているから、阿鼻叫喚の差別裁判だった。

ハンセン病患者たちは、幾度も隔離の中止を訴え続け、ついに、百年続いた「らい予防法」は1996年に廃止。2001年熊本地裁が「隔離は違憲」との判決を出し、小泉首相(当時)が正式に謝罪。同年6月にはハンセン病補償法が成立した。2016年4月、最高裁は特別法廷について、司法手続き上の不備を認め謝罪。2019年には熊本地裁が患者家族への差別や被害も認め謝罪、安倍首相(当時)は控訴を断念。2020年2月、熊本地裁は、隔離施設内の「特別法廷」で行われたこと自体が差別で憲法違反に当たると判断した。

遺族が2021年4月に熊本地裁に再審請求(四回目)を提出し、裁判所、検察、弁護団の三者協議で、弁護団は、違憲なら再審開始と迫り、新証拠も示し、息詰まる裁判検証、再審協議が闘われた。再審決定が待たれたが、残念だった。弁護団は即時抗告、再審の道は続く。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 2月の大阪府知事選は選挙すること自体に意味がない。その意見を表明する投票行動をちょっと考えたが、結局、抗議票として候補に投じた。維新はもう懲り懲りだ。



[山村裕太] 今さら「地面師たち」にドハマリしてしまいました。ピエール瀧さんが演じる後藤の「もうええでしょう」がなぜかツボに入りました。

地域の縁を心でつなぐ

松崎の心の時間



ある有名寺院に納骨した檀家から「小さい骨壺は受けてもらったのに大きい骨壺は断られました。仕方なく散骨したけど、バチは当たりませんか？」とお尋ね。散骨といえば石原慎太郎・裕次郎兄弟の遺骨が故人の遺志により海に散骨されたのが有名です。

刑法190条では「遺骨遺棄罪」が定められ、遺骨をゴミ箱

などに捨てると逮捕されますが、遺骨を粉にして散骨することは違法ではありません。散骨では逮捕されませんが、バチも当たらないでしょう。仏教徒にとって遺骨を大切に扱うことは意義深いことで、お釈迦様の遺骨を分骨し10か所の寺院に奉納したことが、仏教繁栄の一因と言われています。

今年で東日本大震災発生から16年目を迎えますが、依然として2500人余りが行方不明のままの状態が続いています。せめて遺骨が手元になれば、故人の生きた証とし、心の拠り所にもなりうるのですが…。墓じまいが増えている昨今、ブームに乗せられて、遺骨の大切な意味を見失わないようにしたいものです。

松向寺 通法

写真は人生の一部が映ったもの。

ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。

ウツリ の1枚

『風の教会 & Floating Lanterns』

建築家・安藤忠雄の作で有名な六甲の「風の教会」、そこで開催される「六甲ミーツ・アート」の展示作品「Floating Lanterns」では、災害や戦争で失われた建築物の記憶がランタンのように浮遊している。人工的な都市構造の生命力を感じ、同時に災害と戦争と安全を強く考えさせられた。

(編集長 西田吉志)



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび3月号(vol.229)
発行日:2026年3月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:西田吉志
編集:磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、田岡秀朋、福井龍磨、山村裕太、若松司(あいうえお順)
イラスト:hidarimaki、西井亜花梨
デザイン:谷口円

(株)ナイス
ホームページ

